

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年4月17日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「というのは、神がお造りになったものはすべて良いものであり、
感謝してうけるならば、何一つ捨てるものはないからです。」

テモテへの手紙－4章4節

28、はなもことりも（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書28章1～10節

さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである。その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』確かに、あなたがたに伝えました。」婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

[おはなし](#)

[「おはよう」](#)

[杉山昌樹牧師](#)

(上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください)

イースターの朝

今日はイースター、イエス様のご復活をお祝いする日です。それは喜びの日です。何を喜ぶのか、イエス様と友達のように会うことができるようになった、それを喜ぶのです。ほんとうかな、と思いますか？でも今日の聖書で、天使はこういいました。「そこでお目にかかれる」イエス様と会うことができる、と天使は言います。そして、この後を読みますと、確かに弟子たちは、ガリラヤでイエス様ともう一度会うこととなります。しかし、そもそも、イエス様は、死なれたのでした。それはこのイースターの朝の三日前のことでした。先週、スパーリンク先生が、イエス様は十字架の上に最後まで続けてくれた、それは私たちの罪が赦されるためだった、と教えてくださいました。実は、聖書には、十字架の上でイエス様が死なれた時に起きたことが、こんな風書いてあります「そのとき神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つ

に裂け、地震が起こり、岩が裂け、お墓が開いて、眠りについてた多くの聖なるものたちの体が生き返った」。これもまた不思議な話ですね。ところで、神殿の幕とは、神様の世界と人間の世界を分けるものです。イエス様が死なれたときに、この境目が開いたと、聖書は語っています。

神様の力

それと一緒に地震が起きて、岩が裂けたり、お墓が開いたり、神様に選ばれた人たちが生き返った、と続いています。これは、私たちには、とても不思議に思えますけれども、神様の力がわっと出てきた、その様子を描いているのです。旧約聖書の創世記を読みますと、神様は言葉によって、何もないところから、全く新しいものをこの世界に造り出している、その様子が描かれています。このような神様の力が働く時に、私たちの常識を超えたことが起きるのです。新しい命が与えられるのです。そのような意味で、イエス様が死なれたときに起きた地震とその後の不思議な出来事と、今日の聖書の中の出来事、朝早く、イエス様のおさめられていた墓の前で起きた大きな地震と共に稲妻のように輝く天使が現れることとは、全部つながっているように見えます。そこには確かに、神様の力が働いています。神様の命が現れているのです。このようにして、神様は、私たちの中に、新しく命を送ってくださるのです。イエス様こそは、その新しい命に生かされている最初の人です。そしてイースターが嬉しいのは、このようにして、イエス様が、生きた方として私たちにあってくださいからです。

驚き、喜ぶ二人

今日の最初に出てくるマグダラのマリアともう一人のマリアの二人は、もう、イエス様には会えないと思っていたかもしれません。しかし、この地震の後でマリアたちの前に天使が現れ、お墓の蓋をする石を転がしてしまいます。そして言うのです「イエス様はここにはおられない」イエス様は、お墓の中に閉じ込められているような方ではないというのです。さらに「ガリラヤに行けばもう一度会える」と言います。この言葉を聞いたとき、二人のマリアは、畏れながらも、大いに喜んだ、と聖書に書いてあります。とても不思議で、しかも、神様の強い力の働きを感じて恐ろしいけれども、あの優しいイエス様に会えるのはうれしくて仕方がない、そう思って走り出すのです。

現れるイエス様ーイエス様と一緒に生きる

ところが走り出してすぐに、今度は目の前にイエス様が現れます。そして、「おはよう」と言って声をかけてくれました。マリアたちは、またまた驚いてしまい、イエス様の足元に倒れこんで、足に抱き着いてしまいました。マリアたちは、本当に、イエス様に会えたのです。そうして、喜んでイエス様にひれ伏したのです。これがひょっとして最初の教会の礼拝かもしれません。イースターの朝に、イエス様がおはよう、と言ってくれて、改めて友達になってくれて、そして、そのイエス様にひれ伏して喜ぶということがありました。わたしたちも、同じように教会でこの復活のイエス様に会って、友達になってもらって一緒に喜ぶことができます。それがイースターの喜びです。

お祈り

世界を造り、今も治めておられる父なる神様、尊いみ名をほめたたえます。あなたはイエス様を愛して下さり、そのイエス様によって私たちを愛してくださっていますから感謝します。イエス様の十字架は、わ

わたしたちが、イエス様の友達となって、父なる神様のこどもにされて、神様の愛の中に生きるため、ただそのためにあります。あの十字架によって、わたしたちたちは、神様の子であり、友とされています。このことをますます信じて、どんな時も、神様が一緒にいて下さることを知り、普段の生活でも、神様が一緒にいて下さることをわからせてください。また、わたしたちが、神様の愛に倣って、お互いに愛し合い、人に親切にしていくことができますように助けていてください。イースターの喜びを感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

30、すくいぬしはハレルヤ (こどもさんびかをお用ください)